

提出 順番	No. 2	令和元年 11 月 25 日 午前・午後 9 時 45 分受領
----------	----------	------------------------------------

令和元年 11 月 25 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 岡本 眞利子 

## 一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 幕別町におけるSDGsの取組みについて	<p>2015年9月の国連サミットで採択された「SDGs（持続可能な開発目標）」は、17の大きな目標とそれらを達成するための具体的な169のターゲットで構成され、国連加盟193国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げられたものであります。</p> <p>持続可能な開発を達成するためには、経済、社会、環境という3つの主要素を調和させることが欠かせないとされています。</p> <p>日本においても、政府は、2016年5月、総理大臣を本部長とし全閣僚を構成員とする「SDGs推進本部」を設置し、同年12月には日本の取組の指針となる「SDGs実施方針」を定めました。</p> <p>本年10月1日に施行された「食品ロスの削減の推進に関する法律」も我が国における取組のひとつであります。</p> <p>全国の自治体において、SDGsの理念を踏まえた取組みが進められてきています。</p> <p>幕別町においても、SDGs推進に取り組むべきと考えますが見解を伺います。</p>
2 多胎児出産・育児に対する支援について	<p>人口動態調査によると、2017年の我が国における多胎児の分娩件数は、9,914件で分娩件数に占める割合は、1.04%となっています。2005年の1.19%をピークに2011年には0.96%まで下がりましたが、その後は微増に転じています。</p> <p>これは、不妊治療での複数の胚移植や排卵誘発剤などが</p>

影響しているのではないかと推察されています。さらに、高齢の出産になるほど多胎児の割合は高まり、多胎児の7割が体重2,500グラム未満の低出生体重児といわれ、医療や発育への支援が必要なケースも多いといえます。

出産後のストレスや一時的に経済的負担が重いこともあり、多胎児出産には、単胎児出産と同様のサポートのみではなく、多胎児に対しての具体的な支援策が必要であると考えます。そこで以下の点について伺います。

- ① 本町の多胎児出産の現状
- ② 多胎児出産及び育児に係る課題と対策
- ③ 多胎児家族に対する本町独自の支援
- ④ 多胎児育児の不都合の解消支援について

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。